



ims

通信

2025年 5月号

若葉の緑がすがすがしく感じられる今日この頃、お元気にお過ごしでしょうか。
“新緑”と聞くとどんな色が浮かびますか？
季節の移ろいが豊かな日本では古くから日本の文化や生活に基づいた日本特有の色彩があります。
その中から今回は「新緑の色」をお話しをしたいと思います。

若草色(わかくさいろ)

早春に芽吹いた若草のような鮮やかな黄緑のこと
古くからみられる伝統色で、基は平安装束の重ね色目「若草」が由来
春は若草、夏は草色、冬は枯野とそれぞれ季節に合わせて色が変化していく

浅緑色(あさみどりいろ・あさきみどり・せんりよく)

春に芽吹いた若葉のようなうすい緑色のこと。もしくは黄みがかった明るい緑色
万葉集にも出てくる色名でその頃からの伝統色。対になる色は「深緑」
春の柔らかな若葉、特に柳の若葉を指し前回ご紹介した「紅梅色」と合わせて初春によく用いられる

萌黄色・萌木色(もえぎいろ)

萌黄色とは春先に萌え出る若葉のようなさえた黄緑色のこと
平安時代から用いられた伝統ある色名。当時、新緑の若ぎ色ということから若さを象徴する色とされ、
若者向けの色として愛好された。平家物語では若武者の象徴に
また同じ眺みの「萌葱色」は江戸時代に流行した青葱に由来する濃い青緑色を指す

柳色(やなぎいろ)

晩春から初夏にかけての柳の葉の色を思わせる明るい黄緑色のこと
古くからの色名で重色目や織色として平安時代に盛んに使われ、その記録が紫式部日記に残っている
重色目とは、平安時代の衣の表裏、衣2枚以上を重ねた際の色の配合
四季の草花樹葉にちなんで名付けられる。織色とは、染めた糸で折り上げた布帛・織物のこと

若芽色(わかめいろ)

植物の若い芽のような淡い黄緑色のこと。早春に生えて手間もない
草木の色を「若」と「芽」で重ねることで強調した色名
「若葉色」「若草色」「若苗色」等の「若」がつく和色の中でも色味が薄く黄色に近い色
比較的新しい色で、近代になってから登場
英色名では「sprout(スプラウト)」フランス語では「bourgeon(ブルージュオン)」どちらも「芽」を指す

若緑色(わかみどりいろ)

みずみずしい松の若葉のような明るく淡い黄緑異色のこと
晩春の季節として若葉は使用され、本来は「松の新芽」だったが江戸時代に登場し、
そのまま色名として定着年を経た老いた松の色を「老緑(おいみどり)」と呼び対色になる

日本には様々な樹木があります。例えばケヤキや楓、イチヨウ、楠木、桜等
それらが綺麗な新緑の葉を付けるのはちょうど今頃です！
公園や街路樹を見ると案外、すぐ新緑の緑を見る機会があったりします。
緑を見るとフレッシュ効果を感じたり、気持ちが穏やかになったりするとされており、
この心理はWebサイト、ECサイト、SNS、アプリ、販促物等あらゆるマーケティングで使用され実証結果が出ています。
それ程までの効果がある「緑色」がたくさん茂る季節なので、お散歩をしたりするのも良いかもしれませんね！

【七十二候】

七十二候(しちじゅうにこう)は、
二十四節気をそれぞれ3つずつの季節に分けたもので1年では72の季節になります。
自然に目を向けると、四季折々の季節の移り変わりを感じることができます！
毎月一緒に季節の移り変わりを感じましょう！
《今月の七十二候》竹笋生(たけのこしょうず)5月15日(木)～5月20日(火)
旬の味覚である「筍」(たけのこ)がひょっこり顔を出す頃です。
竹は温暖で湿潤な地域に広く分布し、日本などの東アジアだけでなく、世界に約1300種、
日本には約600種があると言われています。そして「筍」はそれら全ての竹の芽の総称です。
古くは「たかなん」と呼んで、漢字では「笋」と書きました。

インスタ、ブログはじめました!!

ims 社員の日々の出来事やつぶやき、
情報提供など様々な内容を配信しております。
毎日更新中！下記よりご覧いただけます！

ブログ



インスタ



弊社HP



メールアドレス



災害時・緊急時含め弊社から
情報提供をさせていただきます。

メールアドレス

ご登録の際は、
本文へお名前(フルネーム)を
ご入力下さい！

〒239-0835 横須賀市佐原1-10-1
有限会社 im s (アイエムエス)
TEL:046-838-5522 FAX:046-838-5533